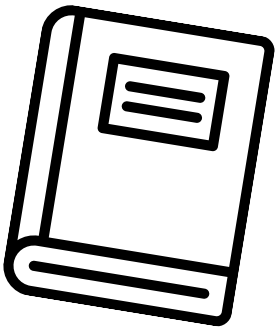
11がつ ほけんだより

羽村西小学校　保健室（令和８年１１月）

運動会が終わり、次は学芸発表会に向けて各学年で練習が始まりました。今年は、都内でインフルエンザが８月下旬に流行入り、９月に流行注意報の基準超えと、例年より早いペースで流行していましたが、西小では大きく流行することはなく運動会を迎えることができました。学芸発表会も、児童も職員も元気に当日を迎えられるよう、基本的な感染症対策を続けていきたいと思います。感染症にかかったり体調に不安があったりするときは、自分自身を守るため、さらに一緒に過ごす友達を守るためにもしっかりと休養を取ることも大切です。

色覚検査について

色覚検査の希望を出していただいた児童について、色覚検査を行いました。前回のほけんだよりでもお伝えした通り、色覚について眼科で改めて検査が必要だと思われる児童のみ「色覚検査結果のお知らせ」をお渡しします。学校での検査はスクリーニングのため、専門医へ相談後、学校まで報告をお願いいたします。不明点等あればご連絡ください。





感染症について

気温が下がり空気が乾燥してくると、のどや鼻の粘膜が乾いたり、ウイルスが水分を失って軽くなり比較的長く空気中に浮遊したりすることで、感染症にかかりやすくなります。

感染症は、種類によって「出席停止」となるものがあります。出席停止の期間は、欠席扱いにはなりません。次ページで、出席停止になる感染症と登校の基準について表を載せておりますので、ご活用ください。これは羽村市の基準で、（表１）（表２）は出席停止、加えて、「校長の判断で出席停止扱いとすることが可能な感染症」について、羽村西小学校では「出席停止扱い」としています。

また、その際は保護者の方が記入する「登校再開届」をご提出ください。提出は登校再開後で構いません。

また、登校の基準については医師の判断を優先としますが、迷う場合はいつでもご連絡ください。

出席停止になる感染症と登校の基準

（表１）第一種の感染症の種類と出席停止期間の基準

第一種の感染症の種類	出席停止期間の基準
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、 マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、 重症急性呼吸器症候群（SARS）、中東呼吸器症候群（MERS）、 特定鳥インフルエンザ【※１】　　【※２】	治癒するまで

（表２）第二種及び第三種の感染症の種類と出席停止期間の基準

第二種及び第三種の感染症の種類		登校の基準
第二種	インフルエンザ （特定鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）	発症した後（発熱の翌日を１日目として）５日を経過し、かつ解熱した後２日を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで又は５日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで
	麻しん	解熱した後３日を経過するまで
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後５日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風しん	発しんが消失するまで
	水痘（みずぼうそう）	すべての発しんが痂皮化するまで（かさぶたになるまで）
	咽頭結膜熱【※３】	主要症状が消退した後２日を経過するまで
	新型コロナウイルス感染症【※４】	発症した後５日を経過し、かつ、症状が軽快した【※５】後１日を経過するまで
	結核【※６】	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで
	髄膜炎菌性髄膜炎	
第三種	コレラ、細菌性赤痢、 腸管出血性大腸菌感染症【※７】、 流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎 【※８】	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで
	その他の感染症【※９】	「表３」を参照

（表３）第三種の感染症とみなし、校長の判断で出席停止扱いとすることが可能な感染症

第三種とみなす感染症の種類	登校の基準　等
感染性胃腸炎（ノロウイルス感染症、ロタウイルス感染症、アデノウイルス感染症）	下痢、嘔吐症状が軽減し全身状態の良い者
サルモネラ感染症（腸チフス、パラチフスを除く）、カンピロバクター菌	下痢が軽減した者
マイコプラズマ肺炎	症状が改善し、全身状態の良い者
インフルエンザ菌感染症、肺炎球菌感染症	発熱、咳等の症状が安定し、全身状態の良い者
溶連菌感染症 （主にＡ群溶血性レンサ球菌感染症）	適切な抗菌薬療法開始後 24 時間以上経過した者（定められた期間は抗菌薬内服を継続）
伝染性紅斑（りんご病）	症状が発しんのみで全身状態の良い者
ＲＳウイルス感染症	発熱、咳等の症状が安定し、全身状態の良い者
ＥＢウイルス感染症	解熱し、全身状態が回復した者
単純ヘルペスウイルス感染症 （発熱や全身性の水疱がある場合）	口唇ヘルペス・歯肉口内炎のみであれば、マスク等をして登校可能
帯状疱疹	病変部が適切に被覆してあれば接触感染を防げるため登校可能
手足口病	全身状態が安定している場合は登校可能 （排便後の手洗いの励行が重要）
ヘルパンギーナ	
Ａ型肝炎	肝機能が正常になった者
角化型疥癬（ノルウェー疥癬）	治癒した者

「別　紙　学校において予防すべき感染症の種類」より抜粋